

この大陸には
魔王に仕える
「魔物」という
強大な生物がいる



待て！
何かあるぞ！



ま……
また魔物……？



誘き出すって……！
今日はこれで
二回目だよ……！

この足跡は……
ゴブリンか？
一匹だけじゃ
ないな……よし
誘き出そう

奴らは
強靱な肉体を持ち
素早く動き



嫌なら、遠回りして
魔物を避けるしかないな

分かった！
やればいいんでしょ！

鋭い嗅覚で
人間の匂いに
反応する





もう…
いっつもいっつも
あたしを…

死
にして…



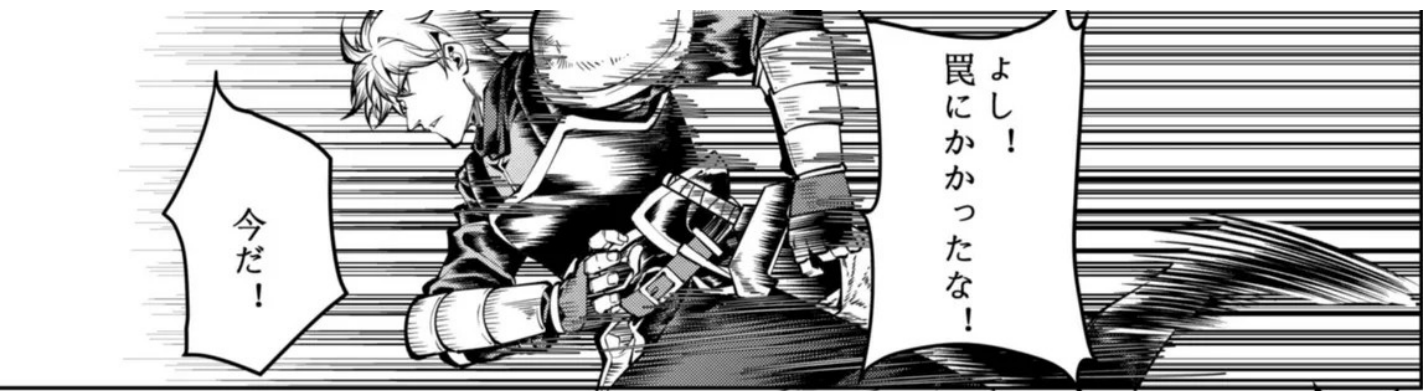
えいっ!



じゃあ…
いくよ…

ああ





今だ!

よし!
罫にかかったな!



グエツ!



ギイ!



ガッ!



うう…
ゴブリンのXXでベトベト…
もう使い物にならないよ…

おかげでゴブリンを
3体も倒せたんだ



街に戻ったら
新しいのを
たくさん買おう

ストッキング、
それは
対魔物の宝具である



よし、
全部片付いたぞ
これで安全…

冒険者たちの旅は
続く

そして彼らの前に
ゾンビが立ちはだかる

なによ！
また私を囮にする気？

ゾンビは目が悪いが
鼻が利く

そして弱点は
「塩」…

塩なんて持って
ないんだけど…

汗を集めて

汗の中の塩分を
利用すれば…

でも今日は
暑いからな

私ばっかじゃ
不公平だよ！

誰が行くかは
ジャンケンで決める！



負けた

暑い夏：長い旅をする
冒険者たちは
大量の汗をかく

塩たっぷりな
匂いがする…
いけるぞ！

その汗は
強力な武器にも
なるのだ…

嗅がないで！



わ…わかったよ

塩がないと
ゾンビは倒せない
ちゃんと奴らに
汗をかけるんだぞ



ああ！
あたしの大事な汗が！



うぐっ！



お？女の匂いが
するぞ

本当か？

すう…はあ…
すう…はあ…
間違いない
女だ！

ポッキ



どこだ？
どこにいる？



これは…女の靴か
女の匂いがたつぷり
染み込んでるぞ

靴かよ
ガツカリ！

気付かれてない



でも女の匂いも
久しぶりだからな

すう…はあ…
ああ！たまらん！

まるで本物の女が
近くににいるようだ！

確かに近くににいる



うお！もうダメだ！

女の体液でいっぱい
この靴！最高だぜ！

ほら お前も
嗅いでみろ

うう…もう何も
言わないで…

結果
今回は靴が
犠牲になった

哇啊啊



ハア…
なんかだるい
わね…

頭が
クラクラする…



なんかね…
肩が重いんだよね…

…
…
…



大丈夫か？
少し休もう



肩が重い…
もしかして…

それ…
病気じゃなくて…



うん…
なんか熱っぽいし
風邪かも…



怨霊に取り憑かれてるのかも



こわーい

チッ
やはり
効かないか…



おどろ



ピンポーン
大正解！
さすがだねえ

わー！
出た！



豊満なお姉さんの

裸が見たいんだ

あたしは大人になれず
死んだから
大人の体に
憧れてるの！

それだけなら…

「それだけ」じゃない！
なに考えてんの？

ちょっと その怨霊も
あたしから離れなさいよ！



まあまあ
そんな怖い顔
しないでよ

あたしが怨霊だって
知ってるのなら

怨霊がどういう
存在なのかも
知ってるんでしょ？



ああ…怨霊は
怨念から生まれる
恐ろしい霊体…

未練を残して散った
魂から生まれる
特殊な魔物だ



逆に言えば
その望みを叶えてやれば
怨霊は成仏し

憑依も解ける

その通り！

あたしの
望みはね…

ちよっ
ちよっ
ちよっ…

きゃあ！

ねえ どうするつもり？
あたし イヤだからね
外で裸になるの…

あの魔法を使えば？
「生命複製」の魔法

それでお前の
コピーを作ればいい

でも そうだな…
魔法の発動には
触媒が必要だ

複製元の生命体との
関りが深く
匂いが近い触媒…

複製の成功率を上げるには…

そう
お前の
パンツが必要だ！

パンツは肌と密着し
汗を吸うことで
持ち主の匂いを帯びる
完璧な触媒だ

なんで？

もう！分かったから
あんたは目を閉じてて！

ん？





あたし…初めて
なんだからね

外でこんなこと
するの…



えっと…もう
いいよ

魔法…ちゃんと
発動したから





うぼわあああ!

ちよつと
あたしの裸を
見ないでよ!

美しい肉体は
人間も魔物も

オスもメスも
平等に虜にする



落着...

プシユツ



よし!
これで一件...

ぐいっ

唸
唸